

# 【ロジックモデル】プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーン脱炭素化のための高度化設備導入等促進事業（リサイクル推進室）

令和4年9月14日時点

## 課題／目的

令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、自治体・企業によるプラスチック資源の回収量の増加、また再生可能資源由来素材への需要拡大が見込まれる。また、今後の再エネ主力電源化に向け排出が増加する太陽光発電設備・高電圧蓄電池等の温暖化対策等により新たに普及した製品や素材には、リサイクル困難なものがあり高度リサイクル設備の社会実装が課題。このため、プラスチック資源・金属資源等のバリューチェーンの脱炭素化のための高度化設備導入支援により、国内資源循環・生産体制の強化を図る。

- ・2020年プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況（一般社団法人プラスチック循環利用協会）
- ・令和2年度バイオプラスチック等の導入ロードマップ作成及び再生材利用の促進に向けた調査
- ・各種リサ法目標達成状況
- ・太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン
- ・（一社）自動車工業会資料

## インパクト

- ・プラスチックの有用性を享受しつつ持続可能な社会（化石資源とのデカップリング、海洋流出ゼロ、リサイクル工程の脱炭素化）の実現。
- ・金属のライフサイクル全体を脱炭素化する。
- ・我が国の都市鉱山の有効活用による脱炭素化に不可欠な金属原料の確保・経済安全保障への貢献。
- ・再エネ関連製品のリサイクル可能な環境の構築。

- ・バージンプラスチック出荷量
- ・プラスチックの海洋流出量
- ・再生材の国内利用量
- ・バイオプラの国内出荷量
- ・金属リサイクル原料の処理量

## インプット

- 【実施期間】 令和5年度～9年度
- 【要求額】 10,000百万円
- 【事業形態】 間接補助（補助率1/3 or 1/2）

リサイクル設備や、バイオプラスチック製造設備の導入を促進するため、事業者ヒアリングや過去事業の実績から必要な設備投資を補助。令和4年5月に実施したアンケートや個別ヒアリングによる令和5年度民間投資予定額：28,000百万円/年（プラ） 3,000百万円/年（金属・再エネ）

## アクティビティ

### 【事業概要】

1. 省CO2型プラスチック資源循環設備への補助
  - ・安定的・効率的なプラスチック資源循環を実現、持続可能な資源循環システムを構築するため、バリューチェーン全体を通してリサイクル設備等の導入を支援する。
  - ・再生可能資源由来素材の製造設備の導入を支援する。
2. 金属・再エネ関連製品等の省CO2型資源循環高度化設備への補助
  - ・太陽光発電設備・高電圧蓄電池等再エネ主力電源化に関連する製品のリサイクルの高度化設備、レアメタルやベースメタルのリサイクル設備の導入を支援する。

・プラスチック資源循環戦略のマイルストーンの達成、再エネ主力電源化に向けプラスチックリサイクル拡大、バイオマスプラ等の利用拡大、金属・再エネ関連設備のリサイクル拡大が必要だが、コストの高止まりにより設備導入がボトルネックとなって社会実装が進みづらい状況であることをヒアリングにより確認している。  
・設備導入支援により、リサイクル量、バイオマスプラスチック導入量の増加を加速化させることが必要。

## アウトプット

- ・省CO2型のリサイクル設備・バイオマスプラスチック等製造設備導入によるエネルギー起源CO2排出量を約820万トン削減。
- ・プラスチックの再生利用量を約30万トン増加
- ・金属・再エネ関連製品のリサイクル体制の確保

- ・省CO2型リサイクル等高度化設備導入促進事業（H30～R2）ではエネルギー起源CO2排出約500万トン削減、プラスチック再生利用量約40万トン増加。
- ・脱炭素化社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業（R3年度）では、実施件数が33件

## アウトカム

### 【短期】

- ・プラスチック、再エネ関連設備に係る再生材・再生可能資源の生産拡大・価格低減による需要喚起
- ・プラスチック、再エネ関連製品に係る最終処分量の減少・リサイクル量の増加
- ・省CO2型のリサイクル設備・バイオマスプラスチック等製造設備の普及促進

### 【中期】

- ・「プラスチック資源循環戦略」のマイルストーン達成
- ・プラスチック資源としての回収量を2030年度までに倍増
- ・金属リサイクル原料の処理量を2030年度までに倍増
- ・2030年にエネルギー起源CO2排出量約1,085万トン削減

### 【長期】

- ・2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素型プラスチック資源循環、金属・再エネ関連設備の資源循環の達成
- ・リサイクルビジネス・資源循環の活性化

短期 事業終了後のCO2削減量・廃棄物量・再資源化量

- 中期①「プラスチック資源循環戦略」マイルストーン等の達成度検証
- ・2030年容器包装6割リユース・リサイクル
  - ・2030年再生材利用量倍増
  - ・2030年バイオマスプラ約200万トン導入
  - ・2030年プラスチック資源回収量倍増

②金属・再エネ関連設備のリサイクル達成度検証

- ・金属リサイクル設備及びリチウムイオン電池リサイクル設備の処理能力を日本全国で42万トン増加（検証作業の具体化によって今後更新予定）

長期 脱炭素型プラスチック資源循環、再エネ主力電源化製品の資源循環の達成度検証（検証作業の具体化によって今後更新予定）